

質問順位	9	質問者	渡邊龍之議員	
件名	項目	要旨		メモ
1. 市長の基本姿勢	1. 市政運営について	1. 市長は、市政運営の基本として民間感覚の導入を強く進めてきたところですが、この4年間で職員の意識に変化があったと思うか。あったとしたら具体的にどんな事項か伺います。また、市民に愛される市役所を目指すのであれば、今後どのような変化を職員に求めていくのか。意識の改革には時間も必要ですが、現行の研修で十分と認識しているのか伺います。		
		2. 毎年厳しい予算編成となっています。交付税、市税等が伸びずにやり繰りは大変と認識していますが、歳入不足を基金からの繰入で賄う予算編成からは事業ありきが見て取れます。経常経費、公債費等の支出が財政を圧迫していますが、財政健全化のためには歳入に合わせた予算編成をすべきと考えるが、見解を伺います。		
2. 市民生活行政	1. 街路灯のLED化の推進について	1. 北海道電力の電気料金の大幅な値上げが行われた結果として、各町内会の街路灯の電気料金の支払いが急激に増えている現状を把握しているか伺います。また、その結果として市の負担も増えるものと思います。街路灯のLED化を年次計画で現在進めていますが、現行のスピードでは何年もかかります。何年間も市の負担増を続けていいのかについて伺います。		

質問順位	9	質問者	渡邊龍之議員		
件名	項目	要旨		メモ	
3. 保健福祉行政	1. 健康づくりとスポーツの結び付きについて	<p>1. 健康づくりに関しては、様々な事業を展開していますが、身近に簡単に健康づくりに取り組むことによって病気予防・リハビリ等に励む人が増えていると認識しているか伺います。また、健康意識の高まりに合わせて、疾病等の予防を取り入れたプログラムを導入する考えについて伺います。</p> <p>また、その際、専門的な分野では医療やスポーツについての知識が必要となりますが、どのように連携を進めていく考えかについて伺います。</p>			
		<p>2. 介護保険特別会計の新年度予算は、前年比0.6%増で毎年増加しています。保険料の抑止に向けた取り組みとして、予防を含め運動により体力のアップを図り、介護給付の支出を抑えることへの考え方について伺います。</p>			
4. 教育行政	1. 道徳の教科化について	<p>1. 滝川市内の小・中学校における道徳教育は、現状どのように進めているのか伺います。また、道徳の教科化が実施された場合の教育委員会としての基本的な対応の考え方を伺います。教科化における問題点をどのように捉えているのか。(検定教科書、授業時間等)</p> <p>また、本来、家庭における取り組みが不十分な部分を含め、学校でそのようなことも教えることについて、子供たちが充実感を得られると思うのか伺います。</p>			

質問順位	9	質問者	渡邊龍之議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
	2. 有害環境への対策について	1. スマートフォンの普及が目覚ましい昨今で、利用価値は多い面もありますが、学校への持ち込み、長時間使用、有害情報への接続等、不適切な利用が問題となっています。以前に教育委員会でスマートフォンの利用実態が報告されていますが、今般、青少年の犯罪被害、いじめ、プライバシーの問題がかなり深刻と考えるべきではないかと思えます。そこで、これらの対応を含めどのように生徒指導を徹底していくのか伺います。			
	3. こどもの体力向上について	1. 平成 20 年から文部科学省が、小学 5 年、中学 2 年を対象に全国体力・運動能力・運動習慣等調査を実施し、過日総務文教常任委員会にも報告されました。こどもの体力向上については、基本的な動作（投げる・跳ぶ・走る）についての保健体育授業での工夫が必要と考えます。また、積極的にスポーツに参加させる環境づくりに取り組み、運動習慣が身に付くようにすべきと考えますが、見解を伺います。			